

# 紀北町立紀伊長島図書室・郷土資料館 整備基本計画

平成27年3月

紀北町教育委員会 生涯学習課

# 目 次

<b>I. 目的</b> . . . . .	1
<b>II. 図書室</b>	
1. 図書室の現状 . . . . .	1
2. 多目的会館図書室の課題 . . . . .	3
3. 整備方針 . . . . .	4
4. 整備計画 . . . . .	4
<b>III. 郷土資料館</b>	
1. 郷土資料館の役割 . . . . .	5
2. 郷土資料館の現状 . . . . .	5
3. 郷土資料館の課題 . . . . .	6
4. 郷土資料館の課題対応 . . . . .	8
5. 紀伊長島郷土資料館の整備方針 . . . . .	8
6. 紀伊長島郷土資料館の整備・展示計画 . . . . .	9
<b>IV. 紀伊長島図書室及び郷土資料館整備事業</b>	
1. 事業概要 . . . . .	10
2. 紀北町地域振興会館の概要 . . . . .	10
3. 整備計画 . . . . .	10
4. 整備スケジュール (案) . . . . .	11
5. 概算事業費 . . . . .	11

## I. 目的

紀伊長島区の図書室は、多目的会館2階に設置しているが、館の耐震性や老朽化、図書室スペースの狭小性が課題となっている。また、紀伊長島郷土資料館は、巨大地震による津波対策として松本から平成18年に紀伊長島体育館2階に緊急避難的に移転し、適切な場所に移転することとしていたが、実現できていない。

一方、役場本庁舎は、平成24年に海山区相賀から紀伊長島区東長島の現在地に移転しており、空き施設を中心とした公共施設のあり方及び活用を検討している。

本計画は、図書室及び郷土資料館の課題の解消や社会教育施設として十分な役割を果たすことを目的に、空き施設の有効利用も含めて策定するものである。

## II. 図書室

### 1. 図書室の現状

本町では、紀伊長島区に多目的会館図書室、海山区に町民センター図書室及び児童図書館の3つの図書施設を設置している。3施設の現状は、下表のとおりである。

#### (1) 施設概要

	多目的会館図書室	町民センター図書室	児童図書館
設置場所	紀伊長島区长島 971 (多目的会館2階)	海山区相賀 513-3 (町民センター2、3階)	海山区相賀 379-1 (紀北教育会館1階)
竣工	昭和56年4月	昭和50年4月 平成26年3月改修	平成7年11月
構造	鉄骨造3階建	RC造3階建	RC造2階建
耐震	耐震性能を満足していない	平成19年耐震改修	新耐震基準による
床面積	145㎡ (図書室110㎡、和室35㎡)	350㎡ (2階175㎡、3階175㎡、書庫含む)	66㎡ (隣室30㎡を読み聞かせで月1回利用)
駐車場	13台	10台	33台(紀北教育会館と共用)
備考	紀伊長島公民館併設		隣室は情報学習室

## (2) 蔵書数 (平成 27 年 3 月 31 現在)

(単位：冊)

	多目的会館図書室	町民センター図書室	児童図書館
総記	268	470	2
哲学・宗教	405	530	-
歴史・地理	800	1,450	8
社会科学	1,000	1,652	32
自然科学	634	810	13
技術	804	809	80
産業	411	432	4
芸術・スポーツ	897	1,092	19
言語	189	200	-
文学	6,072	12,892	2
郷土	305	677	-
雑誌	207	140	36
児童図書	4,933	1,145	2,292
絵本・紙芝居	2,009	285	2,185
ビデオ	79	58	-
計	19,013	22,642	4,673

## (3) 利用状況 (平成 26、25 年度)

## ① 利用者数

(単位：人)

	多目的会館図書室		町民センター図書室		児童図書館	
	H26	H25	H26	H25	H26	H25
幼児・小学生	2,054	1,651	159	110	2,340	2,795
中学生	264	417	495	211	89	37
高校生	195	68	211	151	7	13
成人	4,196	4,103	2,951	2,740	807	904
計	6,709	6,239	3,816	3,212	3,243	3,749

## ② 貸出冊数

(単位：冊)

	多目的会館図書室		町民センター図書室		児童図書館	
	H26	H25	H26	H25	H26	H25
総記	58	70	91	50	0	1
宗教・哲学	241	236	63	60	0	0
地理・歴史	422	475	154	148	1	1
社会科学	310	276	195	111	13	36

自然科学	226	302	190	125	0	8
工業技術	950	719	297	296	92	91
産業	187	161	90	100	1	1
芸術・スポーツ	592	835	434	316	7	6
言語	32	48	24	40	0	0
文学・小説	5,290	5,653	3,556	2,432	0	0
郷土	31	16	100	124	0	0
雑誌	640	493	275	186	75	19
児童図書	3,480	3,821	188	140	2,028	1,950
絵本	1,501	1,393	13	9	1,691	2,157
ビデオ	0	0	0	0	0	0
計	13,960	14,498	5,670	4,137	3,908	4,270

#### (4) 運営状況・職員配置

	多目的会館図書室	町民センター図書室	児童図書館
休館日	・月曜日及び国民の祝日。 ・12月29日～1月3日	・月曜日及び国民の祝日 ・12月29日～1月3日	・月曜日及び国民の祝日 ・12月29日～1月3日
開館時間	午前9時～午後5時 (正午～午後1時は閉館)	午前9時～午後5時 (正午～午後1時は閉館)	午前9時～午後5時 (正午～午後1時は閉館)
職員配置	図書館司書1人 (嘱託職員)	図書館司書1人 (嘱託職員)	図書館司書1人 (嘱託職員)

## 2. 多目的会館図書室の課題

- ①多目的会館は、耐震性能を満足しておらず、老朽化も進んでいるため、大規模な改修が必要である。
- ②図書室は、床面積の不足から次の課題がある。
  - ・書架と書架の幅が狭い。(間隔は75cmの所が多く、狭い箇所では71cmの所もある。)
  - ・書架の高さが高い。(棚が8段で、高さ216cmの書架が多い。児童書架も同様で、児童は、上段の本を手取ることは難しい。)
  - ・書架の棚が満杯で空きスペースがなく、蔵書を増やせない。
  - ・学習や閲覧のスペースが確保できていない。なお、閲覧者等がいると図書が探せない状況になってしまうこともある。
- ③トイレには、洋式便座がない。

- ④駐車場スペースに限りがある。
- ⑤アクセス道路が一方通行で狭く、車での来館が不便である。

### 3. 整備方針

利用者が、安全で安心して、ゆとりを持って本を選んだり、落ち着いて閲覧したり、学習したりできる図書室を整備する。

- ①利用者の施設、設備的な安全性を確保する。
  - ・施設の耐震性を確保する
  - ・書架の固定や高さ制限等により利用者の安全確保や防犯に努める。
- ②利用者の利便性を確保する。
  - ・書架と書架の幅を広く取る。
  - ・書架の高さを抑える。また、児童や絵本の書架は、対象者に応じた高さとする。
  - ・学習コーナーや閲覧スペースを確保する。

### 4. 整備計画

- ・多目的会館の耐震性や図書室の床面積不足等の課題の解消及び道路や駐車場などの利便性の向上を図るため、紀北町地域振興会館へ移転する。
- ・書架は、25,000冊程度のスペースを確保する。
- ・書架の高さは、地震発生時の安全、犯罪行為の抑止等のため、一定の高さに抑える。また、利用者の利便を図るため、一般書架、児童書架、絵本書架を対象者に応じた高さとする。
- ・書架の間隔は、利用者がゆとりを持って本を選べるよう間隔を可能な限り広くする。
- ・利用者がゆっくりと図書を閲覧したり、調べたりできる机、テーブル、腰掛等を配置する。
- ・利用者が落ち着いて学習ができるよう仕切りの付いた学習机等を配置する。
- ・カウンター、書架、学習スペース、閲覧スペース等の配置は、利用者が使いやすく、職員が管理しやすいよう配置する。
- ・図書室内は、清潔で明るくやさしい空間を創造し、利用者が落ち着いて気持ちよく利用することができる雰囲気づくりに努める。

### Ⅲ. 郷土資料館

#### 1. 郷土資料館の役割

##### ①町民の創造性を高める

- ・学習の機会や場を提供する。
- ・地域で培われてきた文化を伝える。
- ・その成果として新たな文化や町づくりの創造に貢献する。

##### ②郷土を大切に作る心を育む

- ・郷土に対する町民の理解を深め、郷土を大切に作る心を育む。

##### ③歴史を未来に活かす

- ・歴史的資料や知識により、現在直面している様々な問題や将来について考える場とすることにより、よりよい町づくりに活かす。

##### ④学校教育をより豊かなものにする

- ・学校教育のカリキュラムに対応した展示により、教科書では行うことのできない方法で子どもたちに歴史等を体感させ、教室での授業をより豊かなものとする。
- ・郷土の歴史や文化にふれることにより、豊かな人間性を備えた子どもが育成されるよう学校教育を支援する。

##### ⑤貴重な資料を守り伝える

- ・貴重な収蔵品等の資料を適切に保管し、後世に引き継ぐ。

#### 2. 郷土資料館の現状

本町では、紀伊長島区に紀伊長島郷土資料館、海山区に海山郷土資料館を設置している。2館の現状は、下表のとおりである。

##### (1) 施設概要

	紀伊長島郷土資料館	海山郷土資料館
設置場所	紀伊長島区長島 2141 (紀伊長島体育館 2階)	海山区中里 96
建築年	昭和 48 年 平成 18 年 12 月に紀伊長島体育館 2 階に移転	明治 43 年 昭和 55 年海山町郷土資料館として開設
耐震	未調査	未調査
構造	R C 鉄骨造 3 建	木造平屋建
床面積	147 m <sup>2</sup>	330 m <sup>2</sup>
収蔵庫	約 75 m <sup>2</sup>	188 m <sup>2</sup> (昭和 62 年築木造 2 階建)

駐車場	17 台（体育館玄関付近）	3 台
備考		国登録有形文化財

(2) 収蔵資料概要

漁具、農具、生活用具、通貨、土器、石器、植物標本等の貴重な民族歴史資料を保存・展示

	紀伊長島郷土資料館	海山郷土資料館
収蔵資料	513種 25, 421点	700種

(3) 企画展

- ・海山郷土資料館は、水彩画展、写真展、保育園作品展等を年 5 回開催。その他に船津公民館の公民館講座作品展を年 5 回開催。
- ・紀伊長島郷土資料館は、開催していない。

(4) 入館者数

	紀伊長島郷土資料館	海山郷土資料館
平成 25 年度	615 人	3, 525 人
平成 24 年度	806 人	2, 757 人

(5) 運営状況・職員配置

	紀伊長島郷土資料館	海山郷土資料館
休館日	・月曜日及び国民の祝日 ・12月29日～1月3日	・月曜日及び国民の祝日 ・12月29日～1月3日
開館時間	午前9時～午後4時30分 (正午～午後1時は閉館)	午前9時～午後4時30分
職員配置	1 人（管理委託職員）	1 人（嘱託職員） ※船津公民館主事 1 人在中

### 3. 郷土資料館の課題

(1) 施設及び設備

- ・紀伊長島体育館 2 階の紀伊長島郷土資料館は、松本の旧郷土資料館が津波浸水区域にあることから、資料を移転して暫定的に設置したものであり、資料の展示や保存環境は十分でなく、今後のあり方については抜本的な検討が必要である。
- ・紀伊長島区の郷土資料は、現資料館のスペースの問題から、同館に収蔵しきれず、松本の旧郷土資料館及び旧三野瀬支所に分散して保管している。



- ・紀伊長島郷土資料館は、紀伊長島体育館の2階に設置しており、施設への案内表示等も整備されていないので、外部からの認識性が低い。
- ・紀伊長島郷土資料館の事務室は、紀伊長島体育館1階にあるため、2階の資料館の管理や来訪者の応対に難がある。
- ・紀伊長島郷土資料館は、外部から内部の様子がわかりにくい構造であり、中には職員が1名配置されているのみであることから、職員の安全面からの配慮が必要である。
- ・海山郷土資料館は、建物自体が国登録有形文化財となっており、適切な管理が必要である。(外壁の塗装は経年劣化することが予想されるため、定期的に塗り直す等)
- ・海山郷土資料館は、平成16年に浸水被害を受けており、今後も貴重な資料の浸水被害を防ぐ対策が必要である。
- ・海山郷土資料館は、独立した施設であり外部からやや隔離されているため、資料の管理、職員の安全面からの配慮が必要である。

#### (2) 資料の収集・保存

- ・資料の寄贈の申し出があった場合、資料の価値等の適正な判断や受入の是非の判断を行う態勢が十分でない。
- ・紀伊長島郷土資料館は、雨漏りや日差しなど資料を適切な保存に難がある。

#### (3) 常設展示・企画展

- ・紀伊長島郷土資料館の常設展示には、解説が少なく、来館者の展示品の理解には、やや難がある。
- ・海山郷土資料館は、産業機具、明治の生活様式等テーマに沿った常設展示ができていますが、紀伊長島郷土資料館はテーマがやや不明瞭になっている。
- ・海山郷土資料館では、地元に関連する絵画展、写真展等の企画展を行っているが、収蔵品を活用した企画展を実施できていない。
- ・紀伊長島郷土資料館では、企画展を実施できていない。

#### (4) 運営・職員配置

- ・職員は、嘱託職員や管理委託職員で学芸員等の専門職員でないため、展示資料の説明、資料受入の適否、資料保存等は、十分な対応ができていない。また、収蔵品等を活用した郷土資料に関する企画展を実施できていない。
- ・紀伊長島郷土資料館については、1階に管理人室があるため、来訪者の対応が十分にできていない。また、職員の安全確保にもやや難がある。

### 4. 郷土資料館の課題対応

#### (1) 施設及び設備

- ・紀伊長島郷土資料館は、安全・安心で展示や保管のスペースが確保できる場所に移転し整備する。
- ・紀伊長島郷土資料館の別施設に暫定的に保管されている資料は、一元的に管理に努める。
- ・施設の案内表示等を来館者にわかりやすいように設置する。
- ・来訪者の応対や資料の管理、職員の安全確保に配慮したカウンターや事務室の配置や展示に努める。
- ・海山郷土資料館については、国登録有形文化財としての適正な管理に努め、現状を維持する。なお、貴重な資料等については、現在の古文書の取り扱いと同様、コピー展示を基本とし、原本は別途厳重な保管を行う。

#### (2) 資料の収集・保存

- ・資料の価値評価や適正な保存方法の判断を行える専門知識を持つ人材を確保に努める。
- ・収蔵スペースの確保に努める。
- ・収蔵品の適切な管理を行う。

#### (3) 展示企画

- ・収蔵する資料等の有効活用を図るため、企画展等の実施に努める。
- ・企画展を実施できる態勢づくりのために必要な人材（職員に限らず識見を有する外部の助言者を含む）の確保に努める。
- ・収蔵品の企画展に限らず、地域の暮らしや自然を紹介する企画展の開催に努める。

#### (4) 運営・職員配置

- ・利用者が利用しやすく、管理も容易な施設の整備や環境の整備に努める。

### 5. 紀伊長島郷土資料館の整備方針

- ・町民が町の歴史や風土、暮らしなどを知り、感じ、気づく場所を創造する。
- ・過去を知ることにより、今や未来を考える基礎やきっかけを得る場所とする。
- ・子どもが楽しく、感じ、気づく場、学べる場とする。また、学校での学習（地域の歴史や昔の暮らしなど）に対応した展示をし、教室での授業の理解を深めることができる場とする。
- ・気づきの場、学びの場とすることにより人づくりに寄与し、地域の維持発展につなげる施設とする。
- ・収蔵品の保管スペースを確保する。

## 6. 紀伊長島郷土資料館の整備・展示計画

### (1) 整備計画

- ・紀伊長島郷土資料館は、耐震性があり、紀伊長島体育館よりも床高が高い紀北町地域振興会館に移転し、展示や保管のスペースを確保する。

### (2) 展示方針

- ・紀北町（紀伊長島区）の特徴が分かる展示
- ・町の成り立ち、現在までの時代の流れ・繋がりが分かる展示
- ・町の気候や風土、暮らしが分かる・感じるができる展示
- ・自分との関わりや繋がりを感じることができる展示
- ・学校での学習を支援する展示
- ・触ったり、体験したりするなど楽しみながら学べる展示

### (3) 展示計画（案）

#### ①土地の形成

- ・長島浦：西町・本町・横町、新町、松本、出垣内
- ・二郷村：呼崎、山本、井ノ島、中州、片上
- ・赤羽村：十須、大原、島原、下地・志子
- ・三野瀬村

#### ②時代の変遷

- ・時代区分：原始・古代、中世・近世、近代・現代等
- ・民具：土器・須恵器、古銭、道具、電化製品等
- ・出来事：土豪と加藤甚左衛門、太平洋戦争等

#### ③民具

- ・生活：衣、食、住
- ・産業：漁具、農具、林具
- ・行事・祭礼：弓の禱、船だんじり

#### ④文化・芸術

- ・俳句：石倉一入子、服部慶乗、三浦樗良

## IV. 紀伊長島図書室及び郷土資料館整備事業

### 1. 事業概要

多目的会館図書室は、紀北町地域振興会館2階に、紀伊長島郷土資料館は、同振興会館2階及び3階に移転し、社会教育施設としての十分な役割を果たすことができるよう整備する。

### 2. 紀北町地域振興会館（旧紀伊長島総合支所）の概要

- ・所在 紀伊長島区长島2 1 4 1
  - ・竣工 昭和46年12月
  - ・構造 RC造3階建地下1階
  - ・面積 2,052㎡（2階567㎡、3階560㎡）
  - ・耐震 平成19年耐震改修実施
- ※1階は、みえ熊野古道商工会

### 3. 整備計画

#### (1) 全体配置

- ・紀北町地域振興会館2階には、事務室、図書室、書庫、郷土資料館①を配置し、3階には、郷土資料館②、郷土資料館収蔵庫を配置する。
- ・図書室と郷土資料館は、相互に有効利用でき、相乗効果を得ることができる配置とする。
- ・事務室、図書室、書庫、郷土資料館、収蔵庫等の全体配置計画にあたっては、施設改修費及び維持管理費の軽減に努める。
- ・施設改修費の軽減については、壁や天井、照明等の撤去や増築、増設等に留意する。
- ・維持管理費の軽減については、人員配置による人件費、部屋や空間利用による光熱費などに留意する。
- ・町内の他の図書室や郷土資料館との連携や役割分担を考慮する。

#### (2) 図書室

- ・図書室は、2階にカウンター、新刊書架、企画書架・机、新聞書架、雑誌書架、一般書架、児童書架、絵本書架、閲覧机、学習机、腰掛、図書検索機、AVコーナー、読み聞かせコーナー等を配置する。
- ・配置計画については、紀北町立図書室等運営委員会等から必要に応じてその意見を聴取し、反映する。
- ・一般書架は、15,000冊以上確保する。
- ・児童書架は、6,000冊以上確保する。

- ・絵本書架は、 3,000 冊以上確保する。
- ・A V 書架は、 150 冊以上確保する。
- ・書架間は、可能な限り広く、書架高は、可能な限り低くする。また、児童書架、絵本書架は、児童や幼児が利用しやすい高さにする。
- ・清潔で明るくやさしいなど利用者が落ち着いて気持ちよく利用できる場とする。

### (3) 郷土資料館

- ・郷土資料館①及び②には、常設展示の他に企画展示スペースを確保する。
- ・郷土資料館の常設展示については、紀伊長島郷土資料館運営委員及び小中学校教員等から必要に応じてその意見を聴取し、反映する。また、所蔵品を有効に活用する。
- ・サイン、グラフィック、解説板など利用者が理解を促進するアイテムを設置する。
- ・収蔵庫は、収蔵品を効率よく収蔵するとともに、容易に出し入れできるよう整備する。

### (4) 防犯対策

- ・3階には、防犯カメラを設置し、2階カウンター等でモニターにより確認できるようする。また、2階には、カウンターから視認性が低い箇所など必要に応じて防犯カメラを設置する。

### (5) 館外

- ・本施設の周知及び認知性を高めるため、国道等からの視認性を確保する。
- ・車による来場者の利便性向上のため、駐車場の駐車台数を確保する。
- ・駐車場等の敷地から館への入り口・玄関を明確にする。

## 4. 整備スケジュール（案）

- ・27年度 整備設計、改修設計及び改修工事
- ・28年度 備品購入、移転

## 5. 概算事業費

整備設計及び改修設計	4,400,000 円
改修工事	44,000,000 円
合 計	48,400,000 円

※備品等の購入製作費及び移転費用等は整備設計の中で検討する。